

今野 文雄 KONNO DESIGN STUDIO代表

<http://www.minimynimo.com> 東京・下北沢のスタジオにて、インテリアライフスタイル・トレンドの分析と提案、ファブリックのシーン&スタイルコーディネート提案、生活関連アイテムを中心にシーンを設定した商品企画&デザイン制作、及び商品開発などを行なっている。この他、テキスタイル関連商品だけではなく照明や陶器などの商品開発とデザイン制作も手掛けている。2004年より独自のホームファッションブランド「minimynimo」（ミニマイニモ）をライセンス4社と開発・展開、卸とネット販売を始める。2005年よりインテリアブランドメーカーであるアスワン株式会社から「FKdesigns」art work by konnoのブランドでラグ・コレクションを発表。また2008年メインブック「Authense vol 5」で同ブランドのカーテンコレクションを発表。



近藤 仁史 RU-RIO L.P.Company (ルーリオ合資会社) 代表

<http://www.cula.jp> テキスタイルデザイナーとして意匠作成にも携わる傍ら、アパレルメーカーの企画意匠やインテリアメーカーの意匠と企画 OEM、新ブランドのスタートから企画・生産、販路開拓と営業戦略も手がける。「発想力」「企画力」「生産力」を結束させ、「デザイン意匠力を活かした魅力的な商品」を開発販売する事業プロジェクトに取り組み、多様化・細分化されるマーケットニーズへ高感度な商品発信する仕組みとして継続と拡大を目指し続ける傍ら「衣・食・住」のlife styleをトータルに提案するべく、飲食店舗プロデュースも始める。【コメント】Hundredというブランドはクリエイターの意匠をプリントしたテキスタイルを特徴にbagや雑貨を展開。ブランド発足から3年を経て百貨店での常設売場獲得、国内外での更なる売場拡大を目指しています。自己PR後コーディネーター坂口氏より前途有るデザイナーに向けて一言ありますか？との問いかけに、伝えきれなかった事をこの場をお借りし、お伝えしたい。第一に己の目指す目標をいつ誰に質問されても即座に回答可能にしておく事。第二、己に投資出来る金額を設定する事。(投資額とは今現在自由に使う金額で無く、自己実現の為に使う覚悟の有る金額) 第三、投資額を最大限有効に使う為の研究に入り、実行に移す事。つまりは、自分に投資をかけるという必要性を認識しまず一步を踏み出さなければ始まらないと考えています。発見や感動といった喜びを得ながら、私はこのタームを繰り返してい、終わりなき挑戦を続けています。